

先行資料調査報告書

御 依 頼 人	株式会社 事業所 × × 部 様		
【案件名】?????			
社内整理番号		発明の名称	ロール紙の残量と、印刷に必要なロール紙の長さを比較し、用紙残量不足の警告を表示する
公開番号			
注文番号			
調査請求項			
【調査範囲】			
調査資料	国内特許・実用新案		
調査期間	1986年以降		
使用D/B	PATOLIS		
論理式概要 (右記検索式の結果について抄録又は明細書内容を確認しました。)	・PATOLIS IPC=B41J29/48+B41J29/38+B41J3/04+G06F3/12 FI=B41J29/48+B41J29/38+B41J3/04+G06F3/12 FT=2C061AQ05+2C061AS06+2C061HH13+2C061HK01+2C061HK13+2C061LL04 要約+請求の範囲=ロール紙*(印刷+プリンタ)*(警告+アラート) 本文全文囲=ロール紙*(印刷+プリンタ)*(警告+アラート) (+ +)*(+) 156件		
【関連文献】			
引用文献の カテゴリー	資料名及び関連箇所		関連する請求 の範囲
X	特開2001-105700(プリンタ、プリンタホスト、これらを備えたプリンタシステム、プリンタホストの動作プログラムが記憶された記憶媒体、印刷用紙/セイコーエプソン株式会社) 第2頁左欄2行目～第2頁左欄15行目、第2頁左欄20行目～第2頁左欄26行目		
Y	特開2004-167932(インクジェット記録装置用画像処理装置システム/キヤノン株式会社) 第2頁2行目～第2頁18行目		
Y	特開平07-117314(ロール紙切れ検出方法/シャープ株式会社) 第2頁左欄2行目～第2頁左欄10行目		
引用文献のカテゴリー 「A」:特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」:先行文献ではあるが、出願日以降に公開されたもの 「P」:出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表されたもの 「T」:出願日又は優先日 後に公表された文献であって出願と矛盾するものでなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」:特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性が無いと考えられるもの 「Y」:特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組み合わせによって進歩性が無いと考えられるもの 「&」:同一パテントファミリー			

2005/01/01

株式会社カリン

Work No. KLS050101

Tel: XXXX-XX-XXXX

Fax: XXXX-XX-XXXX